

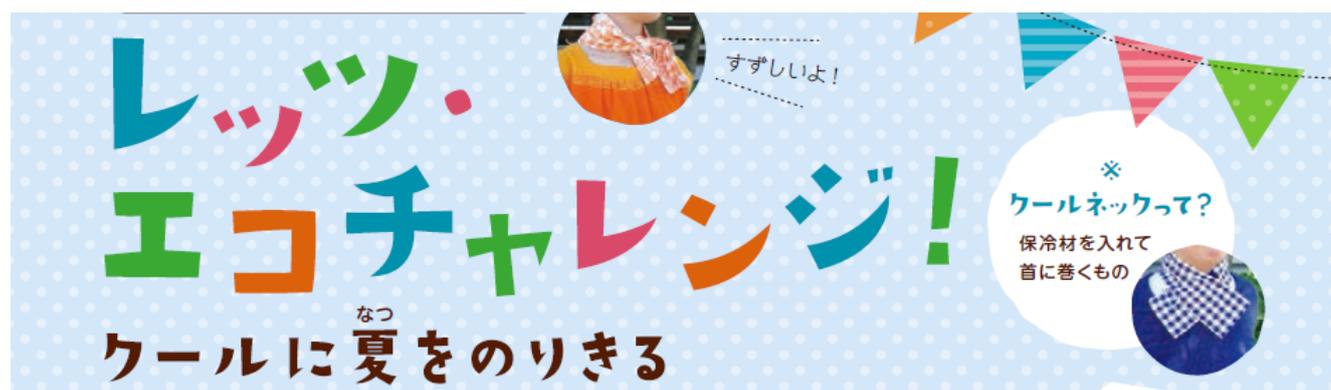
(事業名) 古着をリメイク レッツ・エコチャレンジ！ ～クールネックの巻～

(団体名) 豊園地域ごみ減量推進会議

平成27年度 助成金額179,950円 主な実施場所 豊園学区, 洛央小学校

事業目的・概要—古着をリメイク レッツ・エコチャレンジ！～クールネックの巻～

洛央小学校区のこどもたちや豊園学区の地域の方を対象に、夏休みの体験講座としてリメイク・ワークショップを開催した。今回は、暑い夏に活用できるよう、首に巻くためのクールネックをテーマとした。着られなくなったお気に入りの服などを使い、保冷材を入れるポケットのついたものを手縫いで仕上げた。また、今回のプロジェクトの準備や企画運営のプロセスを通して中心メンバーがワークショップの組み立て方や、ごみ減量やリメイクの考え方を会得することを目指した。学区全体で「ものを大切にする」「ごみを減らす」ことが浸透するよう、常に楽しい活動であることを目指した。



取組内容—クールネック作成とエコについてのお話

- 日時：2015年8月3日(月)、4日(火)、5日(水)
9:30開場 10:00開始 12:00終了
- 対象：小学生以上の子ども、低学年のこどもの保護者、地域の方
- 会場：3,4日→洛央小学校プレイルーム
5日→豊園自治会館
- 参加者数：合計41名 3日12名(うち小学生7名)
4日13名(9名), 5日16名(11名)
- 準備物：裁縫道具, リメイク用の服, 型紙, アンケート
- 講師：SUTOA NEEDLE WORK 渡邊知栄, 巽幸江
- 内容：1) 今日呼ばれた名前を胸に貼ってもらった。持参された布を預かり、開始までに裁断をした。
2) 開会の挨拶, スタッフの紹介, 今日の流れなどを説明
3) エコ(ごみ減量)の話 地域にある環境団体ひのでやエコライフ研究所の方の話(刃物を例に)
4) クールネックの作り方説明, 型紙の配布 5) クールネック作成 6) アンケート



●エコの話のポイント

①着られなくなったお気に入りの服などを使って、他のものに作り変え（リメイク）、長く大切に使うことはごみ減量につながりエコ ②保冷材を入れて首に巻くクールネックは、夏の暑さを少しでも涼しく乗りきる工夫。エアコンの設定温度を少し上げることができ、省エネにつながりエコ ③良い道具を使えば、修理を続け（良い刃物を使えば研ぎ続けて）長く大切に使うことができ、ごみ減量になるのでエコ。④道具に名前を書くことで、紛失しても元の持ち主に戻ってきてごみにならないのでエコ。

成果—こどもたちの人生の今後につながるイベント!?想像以上の成果につながる予感☆

●エコを楽しく学ぶ

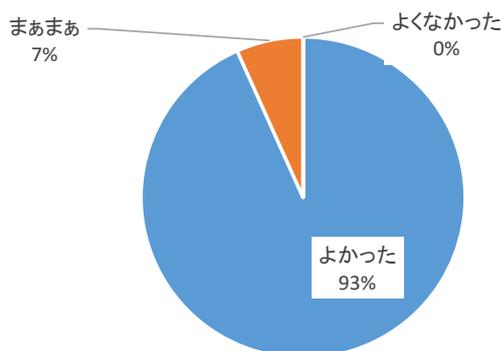
ほとんどのこどもたちが、「難しいけれど、最後までやりきって、たのしかった」など、出来上がったときの達成感は大きかった。

保護者の感想エコについて考えたり話し合ったりはしてきましたが、このように自分の手で実践することによりさらなる関心が深まりました。

こどもの感想いらなくなったものなど、そういうものを身近な



2. エコ(ごみ減量)の話はどうでしたか



べんりな物につくりなおしたら、もっとエコになると知ることができた。

●自分で決める余地のあるくものづくり体験>

クールネックの基本形を教えてもらったが、最後の一工夫は、それぞれ自分で決める余地があった。リボンにして留めたり、マジックテープを使ったり、ただしぼるだけにしたたり・・・このように多様な選択肢があることは、型にはまった指導とは一味違い、個性を伸ばすことにつながると感じた。



●エコを気負わずに

参加した子どもから「エコって楽しい!」という感想があった。取り組みを工夫することで楽しく自然な活動が結果的にエコにつながると感じた。

●ホンモノを使って子どもたちに長く大切に使うことを伝える。

当初は 100 円ショップで道具を買うつもりでいたが、ミーティングを重ね、学区内の刃物屋さんにご相談するうちに、子どもたちにホンモノを長く大切に伝えることがごみ減量にもつながると考えるようになった。今後もエコの目線で、日常にある大切なことやつなげていきたい伝統文化などを見つけ、併せて伝えていくことを継続していきたい。



豊園地域ごみ減量推進会議

【代表者】 会長 根来大三

【主な活動地域】 豊園学区

【ウェブサイト】 なし

【設立の目的】

本会は、会員が対等の立場で参画し、お互いの立場を理解しながら、自発性とパートナーシップを基本としてごみ減量に関する意識の高揚を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自発的な取り組みを推進することを目的とする。

【主な活動内容】

- てんぷら油回収（月 1 回）
- 乾電池、ペットボトルキャップ回収（自治会館に常設）
- 蛍光管回収（月 1 回）
- 小型電化製品、記憶媒体回収（半年に 1 回）
- 古紙、古着回収（月 1 回）
- 環境学習、見学など（不定期）